

船橋市社会科センター通信 第168号

9.19土 報告

勉強会会場はいつもの「プラウド・ター-船橋」。

今回の出席者は、①会場担当で事務局長の大野 肇先生(行徳高校)と②佐藤一巳 ③富澤眞也(旭中) ④田邊順基(前原中) ⑤円城寺淳 ⑥善財利治(佐倉市志津中) ⑦野宮典子(浦安市浦安中) ⑧梶野彩子(浦安市浦安中) の各先生と⑨会長の池田義光の合計9名。今回は、梶野彩子(浦安市浦安中)が初参加してくれましたが、おしくも目標の10名には達することができませんでした。

1本目: 日本史「平安時代」

大野肇 先生(行徳高校)

大野先生は今年は高等学校で「日本史」を教えています。

今回は大野先生が「平安時代」について、本セミナー用に報告してくれました。

1 平安京の時代

桓武天皇は、水害や政治的混乱から、794年に長岡京から平安京に遷都し、律令政治の立て直しを目指した。東北地方の支配にも力を入れ、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して、陸奥国に胆沢城を築き、ここに鎮守府を置いた。平安京の造営と東北地方の支配が重要課題だったが、人々の疲弊を招いたため、これらの事業は中止され、平安京は未完のままに終わった。桓武天皇のあと、平城天皇が即位したがまもなく退位し、嵯峨天皇が即位した。しかし、その後両者の対立により政治的混乱が生じ、嵯峨天皇側が兵を出す事件にまで発展し、嵯峨天皇側が平城太上天皇側に勝利した。事件後、重要文書の取り扱いを行う蔵人所が設置され、その長官である蔵人頭には藤原冬嗣らが就任した。また、嵯峨天皇の時、京都での警察の任務を行う検非違使の設置、法制の整備なども行われた。

2 摂関時代

藤原氏は、天皇家と姻戚関係を結び、さらに政治的事件を利用して他氏を政界から排除し、やがて圧倒的な勢力を持つようになった。冬嗣の子の良房は866年の応天門の変後、臣下で初めて摂政となった。良房のあとを継いだ基経も摂政となり、さらにその後初めて関白となって政治を主導した。969年の安和の変の頃から摂政・関白が常置されるようになり、藤原氏はその職を独占した。この時期を摂関時代といい、その政治を摂関政治という。11世紀の道長・頼通父子の頃に全盛期を迎えた。

3 弘仁・貞観文化、国風文化

4 武士の台頭

5 院政の開始

6 平氏政権

7 院政期の文化

2本目: 指導案検討「現代の民主政治と地方自治」

梶野彩子先生(浦安市浦安中)

梶野彩子先生の11月の研究授業の指導案のうち、主に単元の指導計画と本時展開について、セミナーで検討会をもちました。

[1]単元の指導計画について

1 指導計画原案

- ①市長になって考えて見よう～企業の跡地利用～
- ②民主主義と政治
- ③政党と政治
- ④選挙のしくみと課題
- ⑤政治参加と世論

2 検 討

- ①～⑤に「地方自治」を加えて単元を構成してみよう。
- 単元全体を通して「市長になるために民主政治と地方自治について学ぼう」という単元を貫く課題を設けよう
- 単元の結びの時間に、班で市長候補者とその応援グループという設定で、選挙公約を考えて発表する活動をしよう。

[2]本時展開について

1 本時展開原案

「市長になって考えて見よう」～企業の跡地利用～
架空の市の市長の立場から企業跡地の活用について考える

- ①案A B C Dから自分が提案したい案を選ぶ
- ②提案したい案ごとにグループをつくり、クラスで発表する提案資料を作る
- ③グループごとに発表する
- ④活動を通して、市長に必要とされることを考え、政治学習の見通しを持つ

2 検 討

- 教科書の設定で生徒が意欲を持ち活発に活動するだろうか？
- 本時の学習を通して、生徒がこれから学習する「民主政治と地方自治」に興味・関心を持ち、勉強がおもしろそうだと思うせたい。
- 教科書は全国で使うものなので架空の市になっているが、浦安中では浦安市の問題の方がいいのではないか
- 浦安市にどんな施設がほしいか、生徒の実態をつかむのに事前調査をするとよい
- 案A B C Dを事前調査の結果でいれかえよい
- 1名市長と案A B C Dの提案者を1名ずつグループ内で決めさせて、ロールプレイングをやらせる方法がある。

3本目： 指導案検討「近畿地方」

野宮典子先生(浦安市浦安中)

野宮典子先生の11月の研究授業の指導案のうち、主に単元の指導計画と本時展開について、セミナーで検討会をもちました。

[1]単元の指導計画について

1 指導計画原案

- ①近畿地方の自然の特色
- ②近畿地方の人口と産業の特色
- ③今に生きる伝統工芸
- ④古都の成り立ちと現在
- ⑤大都市圏の形成

2 検 討

- 社会科好きが少ない現状では、社会科好きを増やすのが最重要
- 導入で基礎的な知識を抑えることも重要だが、生徒の実態から言うと、これからの学習に興味関心をもって臨ませることが最重要。
- 野宮先生の今までの経験から、生徒の興味関心を最もひいた活動をどんどんとりいれたい
- 1時間目は、近畿地方について知っていることをどんどん発表させたり、近畿地方クイズを取り入れる方法がある。とにかく盛り上げたい。
- 地図学習を重視するのはとても良い。「地図当て」＝地図帳を使った地名探し、をぜひ毎時間

やってみると盛り上がる

[2]本時展開について

1 本時展開原案

- ①有名な寺院の名前、地図中の場所、歴史に関する発問
- ②「京都・奈良にどのような文化財があるか調べよう」
地図を見て、世界遺産の場所を確認させる
- ③文化遺産の名前、場所、歴史的価値を調べさせる
- ④古都の街並みをどのように守っているか考えよう

2 検 討

- 浦安中生徒の現状からは、興味・関心をもって授業に臨ませることが最重要。
- 京都は年間 5000 万人以上が訪れる世界有数の観光地である。その魅力を考えさせたい。
- 奈良・京都は浦安中生徒が修学旅行で訪れる。しかも班で見学する。知識があつて奈良・京都を訪れば修学旅行が何倍も楽しくなることに気付かせたい。
- 京都検定などを参考に、クイズ形式の活動を取り入れてもいい。
- 「地図当て」はここでも取り入れたい
- 「京都の通りの歌」などを取り入れるのもよい
- 奈良・京都とも、古都の街並みをどのように守っているかを学んだら、実際に修学旅行で見てくる活動もある。
- 奈良・京都に興味関心を持ち、謎を持ったら、それらを今後の修学旅行の事前学習や当日の活動に結びつけるといい。

4本目: 知っ得ニュース 37

池田義光

今回も会員の皆さんが知っておくべきニュース、知って得するニュースをとりあげて、その解説を行いました。「知っ得ニュース」も毎月1本報告して今回で37回目になりました。

[2]ベトナム戦争とドルショック

ベトナム戦争の拡大により米国の財政は悪化し、1971年にはその経済政策の変更を余儀なくされた。この新しい政策の内容とその国際的影響を60字以内で記述しなさい。

(2014 年東大入試より)

- 1 第2次世界大戦は、アメリカを超大国とした（アメリカは「世界の工場」「世界の銀行」）。
1948年には、世界全体の金の7割をもち、鉱工業生産は世界全体の6割以上を占めた。
- 2 その米国を中心に戦後の国際金融秩序(ブレトンウッズ体制 1944～) が作られた
アメリカのドルと金との交換を、金1オンス(約31g) = 35ドルに固定
ドルと金をいつでも交換できることとした。
ドルと世界各国の通貨を固定相場でリンク (例えば1ドル=360円に固定)
これによって国際的な取引がスムーズに進んだ
- 3 アメリカは1965年に北爆を開始してベトナム戦争に全面介入。最大で50万人の兵士を派遣。
仮に兵士1人あたりの食糧・武器弾薬・手当などの経費を1万円とすると1日50億円かかる。
1971年までにはアメリカの金保有高は1948年の約3分の1に低下
- 4 1971年8月、ニクソン大統領は、ドルと金との交換停止を発表(ニクソンショック)
1973年から変動相場制に移行

【解答例】

金とドルとの兌換が停止されたことで、ドルを基軸通貨とするブレトンウッズ体制が崩壊し、諸国は変動相場制に移行していった。(58字)

[3]安全保障関連法案について

1 集団的自衛権の行使は憲法上認められるのか?

(1) 政府は手段的自衛権の行使は合憲という

- ① 1959年の最高裁砂川判決が「自国の存立を全うするために必要な自衛の措置はとりうる」

② 1972年の政府見解「必要最小限の自衛権行使は憲法上認められる」

(2) 殆どの憲法学者は、違憲とする

- ①②砂川判決は安保条約の合憲性を述べたもの。「集団的自衛権」を問題にしていない。
- ③一内閣の判断で憲法解釈が変われば法的安定性が損なわれる
- ④集団的自衛権行使の基準、特に「存立危機事態」の判断があいまい

2 自衛隊の後方支援について、指摘されている問題点を、教えてください

- (1)従来は「戦闘地域」はもちろん「戦闘が予想される場所」も自衛隊が後方支援できなかったが、新法案では「戦闘地域」でなければ戦争中の他国軍を後方支援できるようになる。その際従来の法律では認めてこなかった弾薬の提供や発進準備中の軍用機への給油も可能となる。
- (2)共産党の小池晃氏「空母で自衛隊に給油された米軍ヘリが飛び立って攻撃し、また戻ってくる。これでは自衛隊が米軍と一緒に戦争をやっているとしかみえない」
- (3)安倍首相「他国の武力行使と一体化しないというのが憲法上の要請だ。実際に実施していく上においては、戦闘とならない地域を実施区域に厳格にしていしていく」

3 南シナ海における機雷除去について、安倍首相の見解は？

- (1)安倍首相はこれまで、ホルムズ海峡での機雷除去は集団的自衛権の行使にあたりうるとしたが、「南シナ海は迂回路があり、なかなか想定し得ない」と否定的だった。
- (2)ところが7月29日の次世代の党の質問に対し、南シナ海の機雷除去の可能性について「武力行使の新3要件に当てはまれば、対応していく」と述べた。

[4]その他

- 1 2014年の日本人の平均寿命(男女別)は何歳で、世界第何位ですか？
- 2 松下村塾がなぜ「明治日本の産業革命遺産」として世界文化遺産に登録されたのか？
- 3 安保関連法案に対し、新聞によつての立場の違いは？

新聞社によって立場が違うことに留意する必要 (→池上彰さんの『新聞ななめ読み』から)

- 4 ギリシャ人は怠け者か？→なぜそんな話がでるのか？
- 5 参議院選挙の「10増10減」について教えてください
- 6 給食費未納なら給食を停止措置。→あなたはこの措置をどう思いますか？
- 7 オバマ政権の遺産づくりとは？
- 8 ピース又吉さんは、何という小説で何賞をとりましたか？ あなたの感想は？
- 9 主権者教育の必要性が増しているのはなぜ？ その留意点は？
- 10 7月末に、トルコがISに対して方針転換した2点とは？
- 11 欧州への難民はなぜドイツをめざすのか？
- 12 8月になぜ世界同時株安になったのか？(2つの要因)

(1) 中国経済の減速が深刻に→世界へ影響

(2) アメリカがもうすぐ金利引き上げをするのではないか→特に新興国経済に影響

10月セミナー予定 10月17日(土)

＜勉強会＞は、プラウドタワー船橋1階入口 3時集合

- ①日本の歴史「鎌倉時代」大野肇
- ②知っ得ニュース 池田義光
- ③その他報告を募集しています

※終了後 船橋駅周辺で 6:30頃から＜懇親会＞

⇒出欠席を 16日前までに池田宛てにお知らせください

[お知らせ] 昨年度4月から、「社会科セミナー通信」の掲載及びセミナーへの出欠の連絡は、「船橋市社会科セミナー」のホームページで行っております。〈船橋市社会科セミナー〉で検索できます。



プラウドタワー(船橋北口)